

日本昔工口

ばなし

河童の雨乞い

池竜静留

成年
コミック

むかしむかし
森深くにある
村の外れに
小さな沼があった



そこには一匹のメス河童

「ヒルコ」が住んでいたという



ヒルコは
子供や馬を水の中へ
引きずり込んだりー



田畑を荒らして
村人を困らせる
厄介者だった







こうして
ヒルコは
僧侶の誘いに
乗っけてしまい――

あつという間に
ご機嫌にされた

いやはや
飲み明かして
しまったなあ
朝日が登って
おるぞお

おやまあ
これは
まいった

カママ

ケラ

ケラ

初めて人間と
肩を並べて話したが
まこと愉快じゃのお
生まれ落ちて幾星霜
これほど笑うたのは
初めてじゃあ

いやいや
ヒルコ殿の弁舌には
かないませぬ
それほどの嘶の名人
ならば村人ともすぐに
打ち解けるでしょうに

…いまさら
無理じゃて

かつて我の沼に村人の先祖が
よく釣りをしに来ていたのだが

話し相手欲しさ故に

思い切って声をかけたら
とうとう
刀子を投げつけられてな

バケモノ

ガッ

鉄器で血を割られ
神通力を失った

今では沼の
すみか
穢れも払えぬ

この体たらくよ

本当はこの澱みで
独りきりなのが
とても寂しいのじゃ…

されど
村人たちには
悪童のように
振る舞わねば
関われない…

プル

プル

けははっ

大杯を
戴いてるクセに
なんとも器が
小さきこと！

ゴイッ

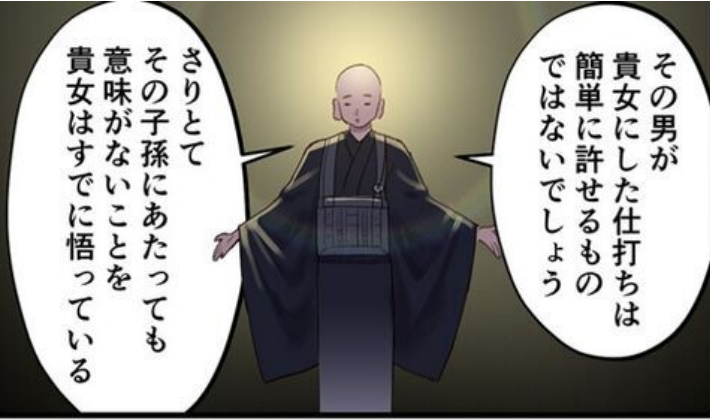
それ故に男を恨み
その子孫も
罪有りきと
せせこましい
嫌がらせを続けていたら
引くに引けなくなつて
しまったのじゃ

スワ

事情はよく
わかりました

なれば
こそです





僧侶が村を去ったその日を境に、ヒルコは悪さをしなくなった

それどころかヒルコは
森の入り口に贈り物を
置くようになり――



僧侶から
ヒルコの
身の上を聞いた
村人たちもまた

お返しを
するようになった



言葉は交わさずとも
お互いに歩み寄り始め

ヒルコの心は幸福感で
満たされていった



しかし

それも長くは
続かなかった



その年の夏は
厳しい日照りが
一月以上続き――

村の畑は甚大な被害を
うけてしまったのだ





追い詰められた村人たちは
「神交祭」という
雨乞いの儀式を決定した

この儀式は
神に仕える巫女と
性交することで
神と直接交流する
というものだった



わ、我にも
手伝わせてくれ！



しかし
この儀式は歩き巫女を騙る
遊行婦女がもたらした
単なる出まかせで—

もう
かんたんしてさっ
かん

この女性たちも
巫女に見立てただけの
普通の村娘たちだった…



いくらまぐわえど
雨が降るはずもなく

村の男衆が
諦めはじめていた

その時だった

おい

もう…
出たよ…

※歩き巫女・遊行婦女

歩き巫女とは、神社に属さず全国を遍歴して生計を立てていた巫女の総称。
遊行婦女とは、前述の歩き巫女が奈良時代頃に神性・司祭性を失いはじめたために
歌舞や売春で生計を立てるようになった遊女の先駆け。「うかれめ」とも言う。

ほ、本当に
いいんだべか？

このままでは
輪姦され続けとる
おなこ
女子たちの
体が保たん

我にはかつて
水を操る神通力も
あった故
常人よりは
儀式の効果を
得られる
かもしれんしの



だけどこんな大勢を
生娘が独りで相手に
するなんて無茶だべ！

おめえのオメコ
こんなちっこいし
裂けちまうだよ！

わ、我はもう
覚悟できて
おる！

妖怪はその程度で
死んだりせんから
心配無用じや！

それにッ

お主らが我を救し
受け入れてくれたのが
誠に嬉しかったから…

その…

今までの侘びと
恩返しをさせて
ほしい……のじや

カアア

け、健氣!!!

マラに効くッ

じーいーん

ト

ロオ♡





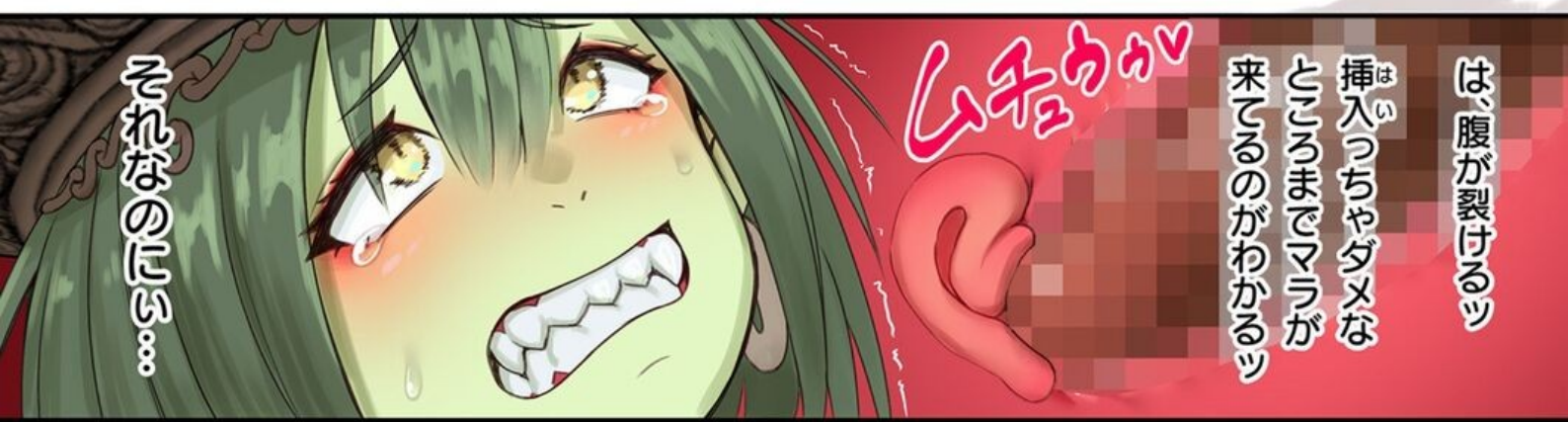






こ、こんなに
具合が良えと
腰がいうこと
きかねえ!!

おほおほ



は、腹が裂けるッ
挿入っちゃダメな
ところまでマラが
来てるのがわかるッ

ムチュカッ

それなのにな...



ぐわッ

しぬほど
キモチイイ

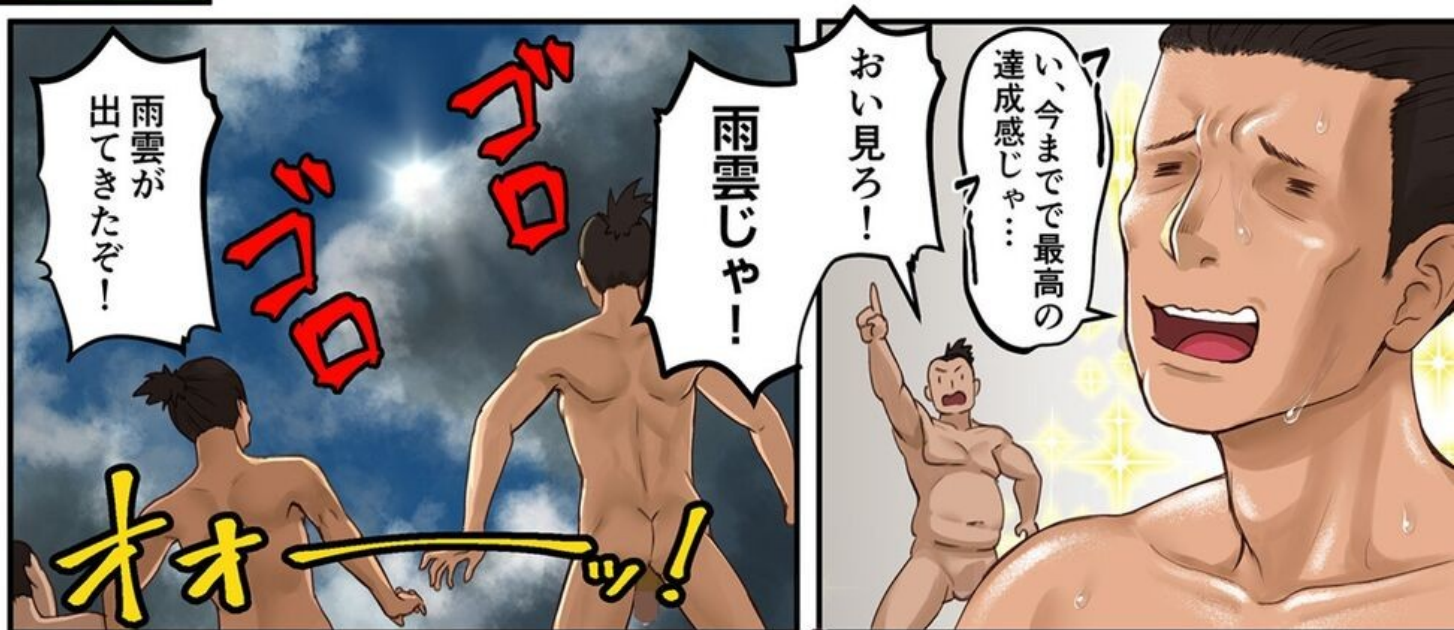
ぐわ

ぐわ









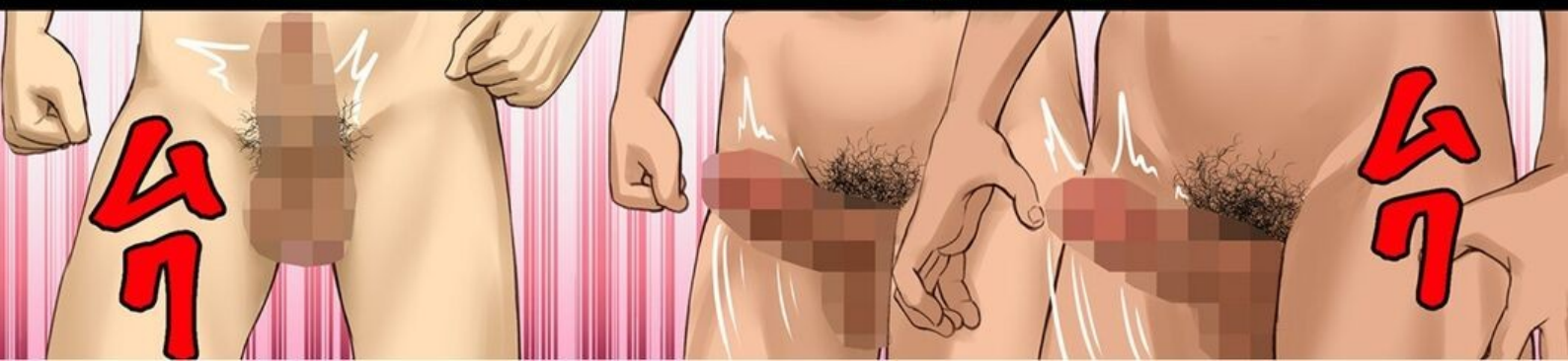


ま、まだ
雲が出た程度じゃ
田畑を潤すには
もっともーつと
儀式せんとな♡



きつと
大雨になるぞ♡

我を孕ませるほど
なかに
膣内に出せば



それはそれは
すさまじい
光景だった

欲望のタガが外れた
ヒルコと村人たちは
昼夜問わず乱交し続け――

中出しされて昂る
ヒルコに呼応するように
雨は強さを増した





そして
3日目の朝

最後の精液が吐き出され
ようやく儀式は幕を閉じた



こ、これだけ
降れば十分じゃ…

もうワシら
粉も出ん…

我も…
満足じゃ…

バシッ



皆と…なかよく
なれ…て…
しあ…わ…



ガッ

こうしてヒルコは
河童としての生を終えた…

幾度目かの夏

僧侶は再び
あの村へと続く
道を歩んでいた



僧侶は旅の最中で
さまざまなもの
を見聞きしてきた

ピカ

そして河童にまつわる
各地の逸話を聞いて
河童とは水神が
零落した姿だと識り

古事記において
最初に生まれた神
「水蛭子」^{みずひるこ}を祀る神社の多くが
その姿を模したとされる
土偶を祀っている事を識った



河童型土偶：主に北陸地方に分布する縄文時代中期に作られたとされる器状の頭をもつ土偶。
新潟県の長者ヶ原遺跡で出土したものが有名。

河童のヒルコの正体

日本各地に
分霊体^{きょうだい}がいたこと



カッパ

この話を聞けば
彼女はたいそう
驚くだろうと
思いながら、村を
一望できる場所に
至った時――



僧侶はたいそう驚いた



村は見違えるような
発展を遂げていたのだ



そ、それは
水神様の加護の
おかげでなー



僧侶が呆気にとられて
立ち尽くしていると
丁度村人が
通りかかったので
何があったのか尋ねた



あはあ



あはあ

あはあ



母上様！
私も！
私も父上様たちと
豊穣祈願したあい♡

はあ♡

イワ♡

だめだよ！
次は私の番
だもん！

フツ♡

ヒルコ様お
愛しますっ！！

ポポポポ
ルルル



これこれ
今日は我だけの
日じゃぞ？

お腹の子らに陽気を
たくさん与えねば
ならんからの♡

えー！
ズルーい！！

村人たちの陽の気で
水神として
生まれ変わったヒルコは

娘たちと共に敬い愛され
幸せに暮らしてましたとさ

めでたしめでたし

日本昔エロばなし「河童の雨乞い」／おわり

日本昔エロばなし(2) 『河童の雨乞い』

著者 池竜静留

発行 プレステージ出版  COMICS

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
